

駆け足で夏が終わった感じですね。今年は随分雨が多く、それも土砂降りで作物の影響も心配されます。日本各地でゲリラ集中豪雨で悩まされた夏、異常気象という言葉が段々当たり前で特別と言う感じがしないようでもあります。味覚の秋、今年の秋はどのようなものが堪能できますでしょうか。

## ■長瀬地区



やっぱりおサルさんの仕業でしょうか、前回教えてもらった自然に出来た花壇の中のスイカ、今回パッキリ割れて食べられた跡がありました。持って逃げるのには重たかったのかな？美味しく食べられる頃を良く知っています。やはりいつが食べごろかが分かるのは人間と同じようにスイカを叩いているのでしょうか？

サルたちの方が見極めの目を持っていて良く分かっていそうですね。その知恵を教えて欲しいものです。



いつもこうやってお母さん達は毎回荷物の集荷の時に集まって来てくださいますが、御喋りに花が咲き、笑顔で明るい表情でワイワイと毎回送り先住所の紙を貼ってくださいます。荷物が一番多い地区だけに間違えないように大変です。

お米ももう黄金色に色づきはじめ、秋の味覚の楽しみが控えています。秋のお野菜はあつという間の時期のもので贅沢だけれど、とても美味しい物ばかりです。楽しみですね。

## ■大野地区



大野屋さんののぼりが風にたなびいて黄色い田んぼの色に引き立っていました。地元の方が集まって来られるお店は、ここの辺りの集会所なども兼ねられています。もし遊びに来られるのでしたら美山近辺などの情報などはここで教えていただければと思います。



名所の長老ヶ岳は、丹波地方を代表する山であり丹波最高峰、貴重な高山植物が生育しているそうです。標高 917mの頂上からは遠く日本海が望め、丹波地区では最も高い山なのです。またこの一帯は高山植物の宝庫とも言われ、4月から5月にかけてシャクナゲやイワカガミなど色とりどりの花が咲き乱れます。ハイキングコースも整い、ふもとから2時間ほどで頂上に登ることができるそうですので皆さんも挑戦してみてください。

■西河内地区



夏祭りの名残がありました。素朴な飾りつけなどが何年もの年月を経てきた味わいを感じさせます。

バス停横のひまわりが太陽の日差しを浴びて道案内の役割をしてくれているようです



あっという間の夏が過ぎて、次はどんな表情をみせてくれているのか、季節の移ろいを感じやすい田舎ならではの楽しみでもあります。雪の積もった冬は辺りを遮断させるかのようにひっそりとしていて、ふるさと野菜もお休みにになり知る事が出来ませんが、ひとときの夏を目一杯謳歌している大自然に癒されます。

## ■高岡地区



涼しげな夏の花があちこちで見られます。風でそよぐ花だけを見れば優雅で過ごしやすい夏のひとときです。でも実際は今年の大量の雨で生産者さんの横に流れる川がいつ氾濫するのかとヒヤヒヤしながら、作物は大丈夫かとヤキモキする夏だったと思われます。穏やかな自然は時として暴れ出すと手の付けられない様相を呈しますが、人間の都合などは関係ないのでしょうか。もっともっと自然に馴染める暮らしを人間側が添わなければいけないのだろうと今年の洪水の災害では考えさせられますね。



ご参加・ご意見・お問い合わせは下記まで ふるさと野菜のおすそ分け事務局

〒621-0242 京都府亀岡宮前町神前上長野2 (有)篠ファーム内 **購入参加者 9月4日 現在 99名**

TEL0771-26-0811 FAX0771-26-0822 e-mail [info@shinofarm.jp](mailto:info@shinofarm.jp)

ふるさと野菜のおすそ分け通信は右記のホームページでもご覧いただけます。 <http://www.shinofarm.jp/furusato.htm>